



ナ イ ン

井 上 ひさし

放送局での仕事が思いがけず早く終わったので、四ツ谷駅前の新道にある中村さんの店に寄って...

中村さんはスポーツ紙を読めながら、茶筒に入れた煎餅をかじっていたが、わたしを見ると、「ここへ来て、おやつをつき合ってやってくださいよ。」

と、針でたてたらこみにたれ上がった田で火鍋の湯の程を替けた。スポーツ紙の見出しに書かれて...

「見ていますよ、あのときのことは。こちらの仕事場の借りを2日目の夏のことですら。」

「いや、夕方、放送局から戻ってくると、ちょうどバレードにぶつかったんです。」

「大学の学生が増え、近くに大会社のビルがいくつも建ったせい、道幅4メートル、長さ100メートル...

「主将の洗濯屋の正太郎くんが、小さな、半袖服の帽子を捨てた大和屋の前を通ると、わたしはバレードに間に合ったのです。」

「ビヤード屋の大将は決勝戦が始まるとすぐ暑気中を起こしてひっくり返ってしまったのさ。田を4つも5つも過ぎていたんだから、これは覚められない。」

「大和屋がお嬢さん2人と出てきて、正太郎くんは御儀儀を渡した。その光景も覚えてますよ。大和屋が『よくやったおね、お疲れさま。』とおげらうと、それまでくすくすやっていた9人が一斉に...

「おほどくやしかったのさ。」

「あの9人はいまだどうしていますか。もちろん英夫くんのことはいくらも知っていますが。」

「ざらばらになってしまったさ。」

中村さんはちょっと目を伏せた。

「一層をやっていた洋服屋の明彦は大学を出て会社員になった。洋服屋は地所を売って千葉のほうへ引っ込んだ。明彦はそこから丸の内会社に出ているそうだよ。二層のお惣菜屋の洋一は新宿のホテルでコックをやっている。」

中村さんは新道少年野球団のナインのその後の消息によく通じていた。それによると、三層のガラス

店の窓くんはコンピュータ技師、遊樂の文房具店の光二くんは神奈川の中学校教師、左隣の豆腐屋の常雄くんは埼玉で自動車学校を経営しているという。

「この近くにいるのは右隣の魚屋の誠だけかな。誠は放送局の前で小料理屋をやっている。」

「豆腐屋の常雄くんが自動車学校の経営者とは意外でした。あのときはみんな小学校の6年生、つまりいま、やっとな30歳でしょう。その若さで自動車学校を運営するなんてすごいじゃないですか。」

「タクシーの運転手をしているときに、そこの社長の前に見込まれたらしいね。で、その社長が自動車学校の経営者でもあったわけさ。」

「なるほど。」

「そういうわけで、みんな新道から出て行ってしまったおね。この地盤は高い。3、40坪の狭い土地でも、処分すれば郊外に家を建てたうえ、びっくりするほどのお釣りがかえてくる。だから僕たちが競争で土地を処分してしまっただけで、お釣りは老後の資金というわけだね。」

中村さんはなぜか、洗濯屋の正太郎くんのことを抜かしてしまっている。新道少年野球団の4番打者で、捕手、主将の正太郎のことになぜかふれたがらないのか。

「正太郎のことは口にしたくないんだよ。」

中村さんはこっこの胸のうちを見たいように言った。

「あいつの名前を聞いてあげてあげて。英夫のやつ、あの正太郎のために金を5万円分も差し取られて、そればかりか、おれが警察に届けようとしたら、『それなら僕はこの家を出て行きま』」

「口にしたくないと言いつつ、正太郎くんのことには話が及ぶと、中村さんはそれまで以上に能弁になった。2年前の冬、ひょっこり正太郎くんが訪ねてきて、金を注文したという。そのときの口上はこうだった。『今度、復興にある不動産会社で働くことになった。これまでいろいろと心配をかけてきたが、今度こそ性根をすてやる決心だから、どうかご安心ください。ところでうちの店は建売住宅をつかって売っているのだが、出入りの量屋さんが少な過ぎるからおさめてくれるお客さんが居り切っている。それを見て、会社に自分を売り込みたいという気もあって、つい、『建売ならにおまかせください。』と都合合っていました。無理を申しつすまないが、明後まで建売5軒分の家を都合してはくれないか。』」

「あとのとき、正太郎を警察に渡しておけば、豆腐屋の常雄もあんな苦労をしなくて済んだのだな。常雄は酒を飲んで自殺しかけたんだ。」

「去年の春、正太郎くんは常雄くんの自動車学校に現れた。掃除夫でもいい、どうか雇って欲しい。そこで常雄くんは旧友を事務員にした。夏、正太郎くんは事務室の金庫から400万円の現金を持ち出し、金を消した。常雄くんの奥さんも同時に家を出てしまった。正太郎くんはいつの間にか常雄くんの奥さんとおんごろになっていった。常雄くんは自殺を図り、間もなく奥さんがおんごろになって戻ってきた。」

「奥さんはいまだこたえたらしく、生まれ変わったようになって常雄につくしているそう、それはめでたい。だがね、あの常雄が酒を飲まぬ意思をいうかべると、そのたびに涙が出て死たがらない。あいつは弱虫の8番打者でねえ、死ぬという、ことを一番怖がっている子なんだ。その子が死のうとした。よほど辛かったにちがいない……。」

「それで常雄くんはどうしました。正太郎くんを訴えたいですか。」

「それがやはり正太郎のやつをおげらうんだよ。警察へどこへも届け出なかったそうだよ。」

「新宿区少年野球大会の準優勝チームの主将だった子が、どうしてそこまで別れてしまったんですうか。」

「それはおれにもわからない。ただ、洗濯屋はしゅっしゅもめていたから、大将の女入りで。そのたびにものすごい夫婦げんかになり、そのたびに正太郎のやつは家を出ていたおね。」

「お父さん、金の仕上がりを見てやってください。」

皮の肩当てを外しながら奥から英夫くんが出てきた。

「4時にはもう運び出さなくちゃなりませんから。」

「おまえが見て、それでよしということになれば、だけれども苦情は出ないさ。」

「言いながら中村さんは息子が自分を立ててくれていることがうれしく、身軽に立ち上がり、

「ちょうどいま、おまえたちが正太郎に天啓だって話をしてたところだ。それにしては新道少年野球団は強かったおね。」

このねんおんで、みんながいつもより一問多く正解してくれることを先生は期待しています。

国語

漢字と語句

文章の中で用いられている語の意味を正確に理解し、その場に適する漢字が使えるようにしておく。同音異字や形がよく似た文字の使い分けに注意して学習しておく。

解説文

解説文は特に正確な読み取りが要求されるので、段落ごとの要点をつかみ、文章全体の要旨をまとめる力を養うことが大切である。語句の意味、指示語・接続語にも注意して読みすすめるようにしよう。

随筆

随筆は、筆者が見たり聞いたり感じたりしたことなどを自分の個性的な表現で、自由に書き表した文章である。その表現から、筆者のものの考え方や、感じ方を読みとろう。

短歌

短歌は文語表現のものが多く、まず文語表現に慣れるようにしよう。作者の感動の中心をつかみ、その背景にある情景、情感にふれることが大切である。

作文(雑考)

雑考とは、文書を書きあげたあと、もう一度見直して正しい文章にすることである。文脈の流れに注意しながら、誤字、脱字、表記など細部まで見ていくようにしよう。

文法(文節相互の関係)

文中において、文節と文節がたがいどんな働きで結びついているか、を見分けられるようにしておく。

社会

世界地理総合

各地域の気候や農工業の特色・時差・経済機構についてまとめておく。また、日本が輸入しているおもな農産物とその輸入先について、統計資料などを利用して調べておく。

日本地理総合

各地域の気候や地形・農産物の特色・農産物について整理しておく。また、各種統計の特徴から、その都道府県を判断できるようにしておく。

歴史総合

飛鳥〜江戸時代における各時代の政治・経済・文化・社会のようすについて、おもな人物や世界の動きと対比しながら、自分で簡単な年表をつくらせて整理しておく。また、第1次世界大戦から現代に至るまでの政治・経済・社会の流れを国際情勢と関連させてまとめ、現在の世界情勢についても、新聞・テレビなどで注意しておく。

日本の政治のしくみとほたらき

司法権の独立や役割・裁判による人権の保障について理解しておく。また、地方公共団体のしくみや選挙・直接請求権についてまとめ、選挙制度については、歴史的なことから現行の選挙制度を具体的に学習しておく。

数学

いろいろな問題

整数の性質、正・負の数の計算、式の計算、おうぎ形の性質、立体の計量などの基本的な事項について復習し、計算が確実できるようにしておく。また、多項式の乗法の公式、因数分解、平方根などの計算をよく練習しておく。

連立方程式の利用

文章題で、問題文に含まれている数量関係を的確につかみとり、それを連立方程式に変えて、解が求められるようにしておく。

一次関数とグラフ

一次関数とそのグラフの意味や特徴を理解し、グラフの交点の座標や直線の式などが求められるようにしておく。また、座標平面上で図形の計量ができるようにしておく。

同音異字は補テキストP7のポイント3を必ず学習する

補習テキストP112~P115句切表現技法、授業中学習したプリントの復習

補習テキストP22、P23の文節を復習

時差について(経度15度で1時間が生じる。東京とロンドン、東京とロサンゼルス(西経120度)の時差の計算ができること

EC、OPEC、G20を調べる(G20はG8から発展して、発展途上国も加わった)

燃費の輸入先については8割はアジアを配分する

気候・地形→テキストP20をみる

テキストP45の4のような問題がある。P41もみておく

歴史についてはテキストP88、P89を勉強し、P88に出てくる人物がどんなことをしたかノートにまとめる

聖武天皇(大仏、聖徳太子)私税法

桓武天皇(平安京、坂上田村麿)私法

テキストP105の3、4

P100の④の表は完全に覚える。特にリコール・インシアアに必要用語の数を心に書き留めること

P102の2の問題がやさい

もう一度スタンダードの1回から6回目までの問題を全部やる。丁寧に読んで、よくわかってきて、手も使って計算すること。テキストP116~P117 P136~P137

スタンダードの2回から7回の問題

テキストP118

スタンダードの2回から6回の問題

テキストP120~P121

必ず→P70~P71

図形と相似

三角形の相似条件を正しく理解し、それを利用して、2つの三角形の相似が筋道を立てて証明できるようにしておく。また、相似な三角形を利用して角度が求められるようにしておく。

二次方程式

二次方程式の解の意味を理解し、正確に解けるようにしておく。関数y=as^2、関数y=as^2について、変化の割合などが求められるようにしておく。

理科

物質の輸送と排出 ヒトの体での物質を輸送するしくみについて、血液循環を中心によく学習しておく。

電流と電圧

電熱線の両端にかかる電圧と流れる電流との関係についてよく理解しておく。

植物のからだのしくみ

植物の根、茎、葉のつくりを理解し、水分の移動するしくみについて学習しておく。

圧力・浮力

水の圧力や浮力について簡単な計算ができるようにしておく。

地球の運動

地球の自転や公転によって起こる、太陽の見かけの動きについて学習しておく。

化学変化のさまり

化学変化の前後における物質の量的な関係について理解しておく。

仕事

仕事の原理について理解し、仕事の計算ができるようにしておく。

火山活動と火成岩

火成岩のでき方やその特徴についてよく理解しておく。

英語

聞きとり

「誰が」「何を」「いつ」「どこで」ということを正確に聞きとり、メモをうまく活用しながら、質問に対して正しい答え方ができるようにしておく。そのためには各疑問文が何をたずねるためのものであり、何を答えればよいのかをきちんと復習しておく。

発音・文の強弱

基本的な単語はしっかりと正しく発音できるようにしておく。また、英文を読む際には、どこを最も強く読んだらよいのか判断できるようにしておく。

語形変化

文中で動詞・名詞・形容詞などの正しい形が決定できるように、文法事項を復習しておく。

問答文

何をたずねているのか、どのように答えればよいのかをよく理解して問題を解く。

書きかえ

同じ内容を別な言い方ができるものや、2つの文を1つの文にまとめる言い方などについてしっかりと復習しておく。

部分英作・整序作文

最近学習した重要文法事項、熟語をまとめて、よく覚えておく。

対話文

前後関係から適当な文を入れる問題が中心になっている。話の流れにそって全文の内容をつかみ、空欄に答えるようにしよう。

長文読解

語彙選択、内容把握などについての問題である。全文体をすばやく正しく把握するために、日頃から英文に慣れ親しむように心がけよう。【Hコース】 Lesson 6 (P.39)まで

テキストP60~P63

テキストP84~P87

テキストP90~P92

変換の割合 a(1+n)

教科書

2上

P76

P162~P168

P78、P79

1下

P21~P33

P42、P43

P56~P57

2上

P177~P187

P68~P71

1上

P90~P108

P20~P23

2上

P77~P110

P36~P43

1上

P43~P154

P52~P55

1下

P124~P135

P96~P99

2下

P92~P106

P117~P119

いつ、どこで誰が何をどうしたというのかについて、メモをしっかりと書きかえよう。

補習テキストP114~P117

補習テキスト関連ページ P8~P45

教科書P35~P39で習った関係代名詞 who, which, thatの用法、本をよく読んで意味がわかりやすい文が書けるようにしよう。

補習テキスト身附ピッチ英語の系統整理などをしっかりと活用しよう。

全国大会に参加した3Bの人の感想です。一部の人の、44Eの一部の発表料にまつてしまひました。



道徳教育全国大会の感想

参加しての感想から

出来るだけ多くを載せたいのでコメントはありません。字ばかりの「ねんりん」になりました。

* 僕は別に緊張もありませんでした。体育館に座ったとき、とうとうきたんだなあと思いました。後が井上君であったので話しをして気合を入れました。しばらくして始まってたたくさんの人が手をあげました。僕も森口先生から「一目前からパンパンいくぞ」といわれたのもあってすつと手が上がりました。森口先生はみんながためらいも無くたくさん手をあげていたのでともうれしそうに見えました。とてもすごい授業だったと思います。みんな集中していたと思います。みんなとてもすごいと思えました。そして森口先生が黒板に「3Bのきずな」と書いてたとき僕の中で熱い熱いものがこみ上げてきました。そして涙がそうになりました。

* 今日全国大会とても良かったです。言いたいことがあったのに、みんなが次々に言うのでいえませんでした。本当に良かったと思います。テニスでは全国大会に出られなかったけど全道研で出られたのでうれしかったです。

* 思ったより緊張せずにできて良かったと思います。自分としても発表できたことはすごいと思うしよく頑張れたと思います。みんな違う考え方を言ってくれたけど、それはそれで納得できる考えだったのでよかったし、藤田君も同じ考えだと言ってくれたときはやっぱりみんな考えているんだなあと思いました。なかなかできない、もしかしたらこれが最後かも知れない大舞台。ありがとうございました。

* 熱いものが込み上げてきました。やっぱり初めは緊張していました。しかし、一、二回発表するのだいぶん緊張がなくなり発表もスツキリできました。それに僕以外の他の人もいつになくたくさん発表しててすごい授業になったと思います。

* 授業が始まるころは緊張感が頂点に達して死にそうなくらい圧迫があつてくるしいものがありました。昨日であれば余り緊張せんだらうなあと思っていたけれど本番は予想異常に緊張して右手で発表するときに手を挙げたら左手はずつと下において隠しながら授業に取り組みました。どうして隠したかという、人数が多すぎて自分では情けないけれど緊張して左手が震えていたからです。…そしてそれから自分の意見を話すんじゃないやなくて眺むんじゃないやなくて「語る」ことが出来るようになったことが一番成長したところだと思います。そのことが一番うれしいことです。僕にはたくさんの親友が出来た。この学習のお陰で自分がこれほど成長できるものだとおもうてなくて頑張つてきて、ただひたすら頑張ることが出来たのは一緒に頑張つてくれる仲間がいたからこそここまで来られたのだという気がしています。

* 授業が始まって、今までやってきたことを踏み台にして頑張ろうと思つて真剣に考えていました。先生が最初の質問をみんなに問いかけたとき、後から見ているみんなの手がさつと一斉に上がりました。本当になんだかびつくりしました。いつも教室で授業しているときは別人のようにみんな真剣に取り組んでいるんだなあと伝わってきました。だから、私もしつかり頑張ろうという気持ちになりました。私が発表したのはたった一回だったけれど私にとってその一回というのは大きいものでした。みんなのときもそうだけれど、一人一人の発言にたいして先生が「うん、うん」とうなずいて聞いてくれたのですごく言い易くてうれしかったです。…授業があつたというまに終わつてその時体育館に拍手が響き渡つたときすごく言葉では言い表せないほどうれしかったのです。今までの授業をやつてきて本当に良かったと思つたし、これからの授業も頑張つていこうと思つた。余り上手にまとめてないけど今日の授業は一生忘れられないものになるだろうと思つた。

* 公明。最高だったよ。勇気を振り絞つたその瞬間がものすごい心臓の音で押し返されそうになった。一番感激したのはやはり小川さんの拳手だった。言えない、とする自分の弱さに打ち勝つたと思う。自信が付いたと思います。3Bの仲間としてうれしく思う。出来ないことないんだよ。人間だからみんなが支えてくれるんだよ。互いが意見を出し合つて全体で取組み一人が発表したら、他のものがすばやく受け止めてくれる。そんな授業になったと思う。決して一人にさせることなく、後から後から意見が表れる。3Bらしいよ。何か、固いきずなに結ばれていたんだね。発表することで自分に勝つたような気がする。何でも「行動する」ことが大切だと思ふ。授業が終わつた後長い溜息をついた。疲れじゃなくて感動と自分が伝えたいことが言えた喜びのホツとした溜息です。忘れない。

* 私は今日初めて自分から手を挙げて発表しました。手を挙げた瞬間さで震えていたのが止まり今度は心臓がドキドキしてまわり聞こえるかと思つた。そしてあてられた時、今まで、ここを勇気と覚えていたのに、たつた瞬間全部忘れて何をいつているのかわかりませんでした。でも、口が勝手に動いて後で何を言つたかいつちも覚えていません。もし、変なことをいっていたらどうしよう、今思つています。出もこれが最後かも知れない授業で、手を挙げられたというのは本当にうれしかったです。このうれしさは、ずつとずつと私の心の中に残つていくと私は思っています。

* みんなどんな手を挙げて発表しているのにはいつまでも下を向いていたらいけないと、このまま手を挙げないでおわつてしまふとクラスみんなを裏切つてしまふとおもうと自然に手が上がつていました。途中でナインの話しから同和問題の話しに変わったとき今まで以上にみんな団結していたと思つた。

* 授業は一生忘れられないものになるだろうと思つた。

授業が始まるころは緊張感が頂点に達して死にそうなくらい圧迫があつてくるしいものがありました。昨日であれば余り緊張せんだらうなあと思っていたけれど本番は予想異常に緊張して右手で発表するときに手を挙げたら左手はずつと下において隠しながら授業に取り組みました。どうして隠したかという、人数が多すぎて自分では情けないけれど緊張して左手が震えていたからです。…そしてそれから自分の意見を話すんじゃないやなくて眺むんじゃないやなくて「語る」ことが出来るようになったことが一番成長したところだと思います。そのことが一番うれしいことです。僕にはたくさんの親友が出来た。この学習のお陰で自分がこれほど成長できるものだとおもうてなくて頑張つてきて、ただひたすら頑張ることが出来たのは一緒に頑張つてくれる仲間がいたからこそここまで来られたのだという気がしています。

授業が始まって、今までやってきたことを踏み台にして頑張ろうと思つて真剣に考えていました。先生が最初の質問をみんなに問いかけたとき、後から見ているみんなの手がさつと一斉に上がりました。本当になんだかびつくりしました。いつも教室で授業しているときは別人のようにみんな真剣に取り組んでいるんだなあと伝わってきました。だから、私もしつかり頑張ろうという気持ちになりました。私が発表したのはたった一回だったけれど私にとってその一回というのは大きいものでした。みんなのときもそうだけれど、一人一人の発言にたいして先生が「うん、うん」とうなずいて聞いてくれたのですごく言い易くてうれしかったです。…授業があつたというまに終わつてその時体育館に拍手が響き渡つたときすごく言葉では言い表せないほどうれしかったのです。今までの授業をやつてきて本当に良かったと思つたし、これからの授業も頑張つていこうと思つた。余り上手にまとめてないけど今日の授業は一生忘れられないものになるだろうと思つた。

授業は一生忘れられないものになるだろうと思つた。

授業は一生忘れられないものになるだろうと思つた。

授業は一生忘れられないものになるだろうと思つた。

授業は一生忘れられないものになるだろうと思つた。

授業は一生忘れられないものになるだろうと思つた。

授業は一生忘れられないものになるだろうと思つた。

授業は一生忘れられないものになるだろうと思つた。

授業は一生忘れられないものになるだろうと思つた。

授業は一生忘れられないものになるだろうと思つた。